

平成28年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験要項

名古屋市教育委員会

申込書受付期間 平成28年5月23日(月)から平成28年6月3日(金)

郵送の場合は、6月2日(木)の消印があるものまで有効

第1次試験 平成28年7月23日(土)

第2次試験 平成28年8月25日(木)・26日(金)

※ 名古屋市では、障害のある方の教員採用に積極的に取り組んでいます。

「障害者特別選考試験」は別要項により実施します。詳しくはp.10、11をご覧ください。

※ 試験日程や会場については志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

この選考試験は、平成29年度の名古屋市公立学校教員の採用に当たり、専門的な知識と幅広い教養を有し、教育に対する情熱と使命感をもち、健康な体と豊かな人間性を備えた知・徳・体のバランスのとれた人材を選考する資料とするために実施するものです。

2 基礎資格

以下のすべてに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有または平成29年3月31日までに取得見込の人。

なお、特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を取得または平成29年3月31日までに取得見込の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有または平成29年3月31日までに取得見込の人。

- (3) 50歳未満(昭和42年4月2日以降に生まれた人)。

※ 特例B-1、B-4、D (p.3、4参照)に該当する人は60歳未満(昭和32年4月2日以降に生まれた人)。

3 選 考

- (1) 選考区分・採用見込人員(別紙)
- (2) 選考方法

選 考 区 分	選 考 方 法	
	1 次 試 験	2 次 試 験
① 高等学校教員	共通 <input type="checkbox"/> 専門「教科」 <input type="checkbox"/> 実技 美術	共通 <input type="checkbox"/> 実技 英語
② 中学校教員	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 総合教養 <input type="checkbox"/> 専門「教科」 <input type="checkbox"/> 実技 音楽、美術、 保健体育、技術、 家庭	<input type="checkbox"/> 口述 (集団面接) (個人面接) <input type="checkbox"/> 実技 英語
③ 小学校教員	<input type="checkbox"/> 口述 (集団面接) <input type="checkbox"/> 専門「小学校全科」	<input type="checkbox"/> 水泳実技
④ 幼稚園教員	<input type="checkbox"/> 専門「幼稚園教育」	<input type="checkbox"/> 幼稚園実技
⑤ 特別支援学校教員	<input type="checkbox"/> 専門「特別支援教育」	(斜線)
⑥ 養護教員	<input type="checkbox"/> 専門「養護」	<input type="checkbox"/> 養護に関する実技
⑦ 栄養教員	<input type="checkbox"/> 専門「栄養」	(斜線)

4 試験の一部免除の特例について

- 下の特例に該当し、書類審査のうえ認められた人は、試験の一部が免除されます。
- 「試験の特例」の可否については、書類審査のうえ、7月上旬の受験票返送時にお知らせします。

特例A-1

<要件> ア、イのいずれかの要件に該当する人

ア スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人（小・中学校での実績は除く）

- ・ 国際規模の競技会などに日本代表として出場した人（オリンピック大会、アジア大会、世界選手権大会等、競技的内容をもつ世界レベルのスポーツ大会に日本代表として出場した人）
- ・ 文部科学省、(財)日本体育協会又はその加盟団体の主催する全国規模の大会において登録選手として出場し、団体競技3位以内、個人競技8位以内の優秀な成績を収めた人

イ 芸術等の分野において、国際レベルのコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた人、または、全国レベルのコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた人（小・中学校での実績は除く）

<対象> ○ 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護教員・栄養教員志願者

<免除内容> ○ 1次試験の「専門」・「実技」

※ 高等学校の志願者においては、教科との関連性を検討して審査をします。

<必要書類> ○ 「特例A実績証明書」（緑色）および「実績等を証明するもののコピー」

※ 実績の中で最も上位と自分が判断したものを貼付してください。団体の場合は、その団体に所属していることが確認できる資料も必ず貼付してください。

特例A-2

<要件>

○ 英会話能力に優れ、以下のいずれかに該当し、且つ英語免許を所有または平成29年3月31日までに取得見込みの人

- ・ 実用英語技能検定(日本英語検定協会)準1級合格者
- ・ TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点以上、またはCBT213点以上、またはiBT80点以上
- ・ TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上

<対象> ○ 小学校教員志願者

<免除内容> ○ 1次試験の専門「小学校全科」

◆ 併願する場合は、その選考区分の「専門」の受験が必要

<必要書類> ○ 「特例A実績証明書」（緑色）および「実績等を証明するもののコピー」

特例A-3

<要件>

○ 英会話能力に優れ、以下のいずれかに該当する人

- ・ 実用英語技能検定(日本英語検定協会)1級合格者
- ・ TOEFL(国際教育交換協議会)PBT600点以上、またはCBT240点以上、またはiBT95点以上
- ・ TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)900点以上

<対象> ○ 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護教員・栄養教員志願者

<免除内容> ○ 1次試験の「専門」・「実技」

※ 教科「英語」の希望者は、1次の「専門」に加えて、2次の英語「実技」も免除します。

※ 高等学校の志願者においては、教科との関連性を検討して審査をします。

<必要書類> ○ 「特例A実績証明書」（緑色）および「実績等を証明するもののコピー」

※ 「特例A実績証明書」は、各欄を記入し、裏面に実績や資格などを証明するもののコピーを貼付して、申込書と一緒に提出してください。

特例B-1

- <要件> ○ 名古屋市公立小学校に常勤・非常勤講師として任用され、平成18年度から平成28年度（平成28年5月31日まで）において、任用期間が通算5年以上ある人
- <対象> ○ 小学校教員志願者
- <免除内容> ○ 1次試験の「総合教養」・専門「小学校全科」
◆ 併願する場合は、その選考区分の「専門」の受験が必要
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」（水色） ※所属長の証明が必要
※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。
※ 特例B-1が認められた人は、60歳未満（昭和32年4月2日以降に生まれた人）まで受験が可能です。

特例B-2

- <要件> ○ 現在、名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務しており、平成27年度末までに本務教諭の任用期間が通算2年以上ある人
※ 本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
- <対象> ○ 中学校・小学校・特別支援学校・養護教員志願者
- <免除内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「専門」・「実技」・「小論文」
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」（水色） ※所属長の証明が必要

特例B-3

- <要件> ○ なごや教職インターンシップの活動が、平成27年度において30回以上ある人
- <対象> ○ 中学校・小学校・特別支援学校・養護教員志願者
- <免除内容> ○ 1次試験の「総合教養」・「小論文」
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」（水色） および「なごや教職インターンシップ活動記録票」
※ 「特例B実績証明書」には氏名と捺印のみをし、裏面に所属長の証明がある「なごや教職インターンシップ活動記録票」の原本を貼付してください。

特例B-4

- <要件> ○ 名古屋市公立学校（園）に常勤・非常勤講師として任用され、平成23年度から平成28年度（平成28年5月31日まで）において、任用期間が通算2年以上ある人
- <対象> ○ 中学校・小学校・特別支援学校・養護教員志願者
- <免除内容> ○ 1次試験の「総合教養」
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」（水色） ※所属長の証明が必要
※ 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。
※ 特例B-4が認められた人は、60歳未満（昭和32年4月2日以降に生まれた人）まで受験が可能です。

特例B-5

- <要件> 名古屋市において、平成23年度から平成28年度（平成28年5月31日まで）に、下の活動（任用）期間が通算2年以上ある人
- トワイライトスクール（放課後子どもプランモデル事業を含む）・トワイライトルームにおいて次の活動をしている人
運営指導者、子ども指導員、地域協力員（「AP」）、体験活動講師、学生ボランティア
 - ふれあいフレンド、部活動外部指導者（部活動外部顧問を含む）、理科支援員、名古屋市児童福祉センター「あそびっこ」、母語学習協力員、名古屋市民おんたけ休暇村キャンプカウンセラー、フレンドリーユース
 - 土曜学習いきいきサポーター
- <対象> ○ 中学校・小学校・特別支援学校・養護教員志願者
- <免除内容> ○ 1次試験の「総合教養」
- <必要書類> ○ 「特例B実績証明書」（水色） ※所属長・所属団体の証明が必要
※ 活動（任用）期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。
※ 土曜学習いきいきサポーターは、活動回数が24回以上必要です。

※ 「特例B-4」と「特例B-5」の活動（任用）期間は合算することができます。

※ 「特例B実績証明書」は、各欄を記入し、申込書と一緒に提出してください。

※ 小学校・中学校の受験者が、高等学校・幼稚園を併願する場合は、「特例B」の申請はできません。

特例 C

- <要件> ○ 大学院での修学を理由に、「平成27年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」において、小学校教員または中学校教員の区分での「合格」を辞退し、次の要件をすべて満たす人
- ・ 平成29年3月31日までに大学院修士課程を修了見込であること
 - ・ 平成29年3月31日までに「平成27年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」で「合格」した選考区分・教科の専修免許状を取得もしくは取得見込みであること
 - ・ 「平成27年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」で「合格」した選考区分・教科に出願すること
- <対象> ○ 中学校・小学校教員志願者
- <特例内容> ○ 2次試験の個人面接のみで選考試験を実施
- <必要書類> ○ 大学院修了（見込）証明書
○ 対象者に昨年度送付した「大学院在学者への特別措置決定通知書」

※ 特例Cは「大学院修了（見込）証明書」と「大学院在学者への特別措置決定通知書」を申込書と一緒に提出してください。

特例 D

- <要件> ○ 名古屋市公立学校（園）に、本務教諭として勤務し、平成27年3月31日以降に、介護を理由に退職した人
- 退職時と同一校種、同一教科での出願に限る
 - 出願時に、退職日から3年以内の人
- ※ 本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
- <対象> ○ 高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護教員・栄養教員志願者
- ※ ただし、募集のない区分の出願はできません。
- <特例内容> ○ 2次試験の口述（個人面接・集団面接）のみで選考試験を実施
- <必要書類> ○ 「介護理由退職者証明書」
- ※ 退職時に退職校（園）の校（園）長の証明が必要です。
- ※ 作成した証明書は、出願時まで退職者の責任で保管してください。
- ※ 特例Dが認められた人は、60歳未満（昭和32年4月2日以降に生まれた人）まで受験が可能です。

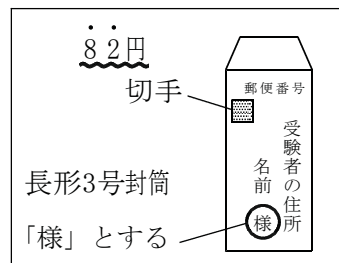
※ 特例Dは「介護理由退職者証明書」を申込書と一緒に提出してください。

5 申込手続

- (1) 受付期間 平成28年5月23日（月）～平成28年6月3日（金）
 受付時間 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日を除く）
 ただし、**郵送のものは、6月2日（木）の消印があるものまで有効**
 ※「簡易書留」を必ず利用してください。折り曲げないでください。

(2) 申込方法

- ・ 申込書に必要事項を記入し、82円の郵便切手を貼った、宛先・郵便番号明記の受験票返送用封筒（長形3号封筒 120×235mm）を添えて名古屋市教育委員会 教職員課へ持参または郵送してください。
- ・ 郵送の場合は、封筒（角形2号封筒 332×240mm）の表に「申込書在中」と朱記してください。
- ・ 申込書の記載に不備がある場合は、受理できませんので、「申込書記入上の注意」をよく読み記入してください。また、上記の受験票返送用封筒を忘れずに同封してください。



<受験票返送用封筒>

(3) 受験票の交付

- ・ 選考番号や会場等を記入したものを、7月上旬に交付（郵送）します。
- ※ 受験票は大切に保管し、選考試験日に持参してください。
- ※ 7月10日を過ぎても受験票が届かない場合は、名古屋市教育委員会 教職員課まで、連絡してください。
- ※ **受験票返送後の連絡や問合せの際には選考番号を明言してください。**

6 1次試験の期日、会場および内容

(1) 期 日 平成28年7月23日(土)

(2) 会 場

山田(高)会場 名古屋市立山田高等学校 名古屋市西区二方町19-1
TEL 052-501-7800

山田(中)会場 名古屋市立山田中学校 名古屋市西区八筋町363-1
TEL 052-501-5591

名古屋商業会場 名古屋市立名古屋商業高等学校 名古屋市千種区自由ヶ丘二丁目11-48
TEL 052-751-6111

菊里会場 名古屋市立菊里高等学校 名古屋市千種区星が丘元町13-7
TEL 052-781-0445

(3) 試験日程・内容

	内 容	対 象
8:10～8:40	受 付	全 員
8:50～9:10	受験上の注意、書類提出	全 員
9:30～10:30	小 論 文	全 員
10:50～11:30	総 合 教 養	全 員
11:30～12:20	昼 食	
12:20～13:20	専門「小学校全科」	小 学 校
	専 門 「 教 科 」	高等学校(地理・歴史、工業、情報)、 特別支援学校、養護教員
	口 述	この時間帯に専門「小学校全科」・「教科」を受験しない人の一部
13:40～14:40	専 門 「 教 科 」	幼稚園、中学校、 高等学校(地理・歴史、工業、情報を除く)、栄養教員
	口 述	この時間帯に専門「教科」を受験しない人の一部
14:50～17:20	実 技	中 学 校 — 音・美・保体・技・家 高 等 学 校 — 美
	口 述	これより前の時間帯で口述を受験しなかった人 (この時間帯に実技がある人も含む)

※ 中学校、高等学校の同一教科の専門「教科」、「実技」は共通です。

※ 会場・試験日程を変更することがあります。

(4) 1次試験日（7月23日）に提出するもの（詳しくはp9の「教員採用選考試験Q&A」をご覧ください。）

① 履歴書 — **市販の履歴書用紙**（A4サイズ、A3二つ折りも可）

署名・捺印のうえ記入し、写真を貼付したもの。現在、国公立学校に、本務教諭として勤務中の人は、学校保管の履歴書の写に所属長の原本証明をしたもの。

※ 現在、本市に講師として勤務している人は市販の履歴書用紙で提出してください。

② 免許状証明書 }
 原本の写（コピーしたもの）
 授与証明書（免許状を発行した教育委員会の証明書）
 取得見込証明書（大学の発行するもの）
 のいずれか。

※ 免許状更新講習を受けられた方や、免許状の有効期間の延長をした方は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写（コピーしたもの）を添付してください。

③ 大学及び大学院の卒業・修了（見込）証明書 — 二つ以上の大学、または学部にあたる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された方は、それぞれの卒業・修了（見込）証明書が必要です。

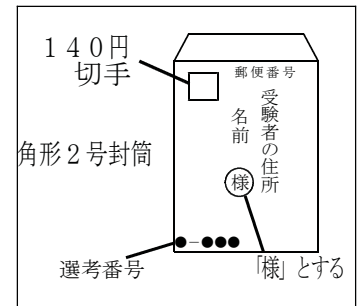
④ 返信用封筒 — 宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、140円の郵便切手を貼った角形2号封筒（332×240mm）

※ 宛先は申込書に記入した住所と同じにしてください。（住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所）

※ 選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考以外の目的で使用しません。

※ 改姓の場合や勤務先、住所、電話など記載事項に変更が生じたときは、必ず**文書**ですみやかに教育委員会に届け出てください。

※ 「特例C」または「特例D」が認められた人は、上の①②③④の書類を7月19日までに名古屋市教育委員会教職員課まで簡易書留で郵送してください。



<返信用封筒>

(5) 1次試験の選考結果通知について

受験者全員に平成28年8月中旬に通知（郵送）します。なお、ホームページ上でも発表します。

(6) その他

試験中は携帯電話を時計代わりに使うことは認めません。

7 2次試験について

2次試験受験者となった人を対象に実施します。

期 日	内 容	対 象
8月25日（木）	口述(集団・個人面接)	全 員
	「水泳実技」	小 学 校
8月26日（金）	「幼稚園実技」	幼 稚 園
	「英語実技」	中学校・高等学校の英語
	「養護に関する実技」	養 護 教 員

8 選考結果通知等

(1) 最終選考方法と選考結果の通知について

1次試験および2次試験の結果ならびに提出書類を総合して最終選考をします。最終的な合格・補欠・不合格の決定を、2次試験受験者にのみ、平成28年9月下旬に通知（郵送）します。なお、ホームページ上でも発表します。

- ・ 合格…平成29年4月1日付で採用します。
- ・ 補欠…平成29年12月末日までの間で、欠員状況等に応じ、採用されることがあります。
- ・ 不合格…1次、2次試験結果等の総合判定により不合格となった人で、採用されません。

(2) 健康検査書の提出

合格者及び補欠者には結果の通知とともに所定の健康検査書を送付しますので、指定された期日までに提出してください。健康上の理由によりその職に耐えられないと認められた場合は、合格または補欠であっても採用されないことがあります。

(3) 大学院在学者及び進学者への特別措置

「平成28年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」において小学校教員または中学校教員の区分で合格した者の中で、平成29年度に大学院(教職大学院を含む。以下同じ)に進学または在学を理由として採用を辞退した者が、次のア～ウの要件をすべて満たした上で、下に示す「名古屋市公立学校教員採用選考試験」に、平成28年度と同一の選考区分・教科で出願した場合は、2次試験の個人面接のみで選考試験を実施します。

- ① 大学院在学者 … 「平成29年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」
- ② 大学院進学者 … 「平成30年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」

ア 大学院での修学を理由に、平成28年10月14日までに名古屋市教育委員会に申し出た上で「平成28年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」の合格を辞退すること。

イ 平成29年度に大学院で修学すること。

ウ 下に示す期限までに、大学院修士課程を修了見込みであり、且つ「平成28年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」で合格した区分・教科の専修免許状を取得もしくは取得見込みであること。

- ① 大学院在学者 … 平成30年3月31日まで
- ② 大学院進学者 … 平成31年3月31日まで

(4) 選考結果の情報提供について

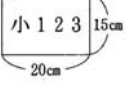
1次および最終選考で不合格となった人全員に、次の選考結果情報を提供します。

- ・ 1次および最終選考で不合格となった人の中を、それぞれ総合成績順に上位からA、B、Cと3区分したランク。
- ・ 1次試験不合格者には「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」。
- ・ 最終選考不合格者には1次試験の「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」及び2次試験の「内容別評定」。

(5) その他

- ・ 各校種ごとの教員必要数の関係から、他の校種に採用されることもあります。
- ・ 平成29年3月31日までに大学（もしくは短期大学）を卒業できない場合、該当する教員免許状を取得できない場合、合格種免許状の期限が切れている場合等、採用時に勤務できない事態が生じた場合には、合格は取り消しとなります。
- ・ 選考結果の通知前の問合せには、応じられません。

● 1次試験

○中学校の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏 ・歌 唱 	<p>課題曲は、モーツァルトのソナタ「K. 332 第1楽章」または、ベートーヴェンのソナタ「Op. 2. No1 第1楽章」で、いずれか1曲を自ら選んで演奏します。</p> <p>自由曲は随意の1曲です。課題曲・自由曲の楽譜は各自持参してください。</p> <p>次の中学校教材の中からいずれか1曲を自ら選んで伴奏しながら視唱します。</p> <p>楽譜は各自持参してください。</p> <p>「赤とんぼ」「夏の思い出」「早春賦」「帰れソレントへ」</p> <p>※「帰れソレントへ」は原語又は日本語とします。</p>
○中学校・高等学校の美術		<p>水彩絵の具、筆（大・中・小）、パレット、鉛筆（数本）、消しゴム、筆洗、筆をぬぐう布・雑巾、のりを各自持参してください。</p>
○中学校の保健体育 (ゼッケンについて)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走 ・マット運動 ・バスケットボール ・なわ跳び運動 	<p>受験に適したゼッケンをつけた服装、シューズ（ひも付きの屋内用）、健康保険証を持参してください。（素足での実技は厳禁）</p> <p>ゼッケンは右図のように、各自が用意した白布に選考番号を黒色で明記し、胸と背に縫いつけてください。</p> 
○中学校の技術	・木工	<p>木材の加工をします。さしがね、両刃のこぎり、平かんな、両口げんのうを各自持参してください。また、実技に適した服装・履き物を持参してください。</p>
○中学校の家庭	・衣生活	<p>縫い針、まち針、針山、糸切りばさみ、裁ちばさみ、ものさし、または方眼定規、チャコペンシルを各自持参してください。</p>

● 2次試験

○小学校の水泳実技	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ <p>各25m</p>	<p>水泳着、水泳帽、タオル、健康保険証を持参してください。</p> <p>当日健康上の理由などで、水泳受験ができない人は、本部に申し出てください。（後日実施します）</p> <p>特に、医師から水泳を禁止されている人は、診断書を提出してください。</p>
○中学校・高等学校の英語	・英会話	<p>英文を読み、それに関して英語で質疑応答します。また、教育に関する話題について英語で質疑応答します。持参するものは特にありません。</p>
○幼稚園実技	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏 ・歌唱 ・表現 	<p>標準バイエルピアノ教則本の中の、「88番」・「100番」のいずれか1曲を自ら選んで演奏します。楽譜は各自持参してください。</p> <p>幼児向きの曲〈自由選択〉を1曲と、課題曲（「あめふりくまのこ」・「おつかいありさん」のいずれか1曲を自ら選択）を伴奏しながら視唱します。楽譜は各自持参してください。</p> <p>幼児向きの曲〈自由選択〉を歌いながら表現します。</p> <p>屋内用シューズを持参してください。</p>
○養護に関する実技	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 ・保健指導 	<p>健康診断に関わる保健指導の実技を行います。持参するものは特にありません。</p>

教員採用選考試験 Q & A

<申込書について>

- Q 1 併願を考えているのですが、どの校種が併願できるのですか？**
A 同じ時間帯の試験がなければ併願可能です。p.14をご覧ください。ただし、併願した場合（中学校と高等学校の同一教科を併願した場合を除く）は、第2希望の専門試験や実技試験も受ける必要があります。
- Q 2 教育実習の期間を忘れてしまいました、どうしたらよいですか？**
A 分かる範囲で正確に記入してください。
- Q 3 職歴がたくさんあるため、書く欄が不足する場合はどうしたらよいですか？**
A 1つの枠を2つに分割して記入してください。それでも不足するようなら、同じサイズ・形式の用紙を貼り付け記入してください。貼り付ける場合は、上方向にめくることができるようにしてください。
- Q 4 申込書6の欄の「免許状の修了確認期限」は、どのように確認すればよいですか？**
A 平成21年4月1日以降に授与された免許状には有効期間の満了の日が明記されています。それ以前に授与された免許状をお持ちの方は、文部科学省のホームページ(<http://www.mext.go.jp>)等で確認してください。
- Q 5 複数の免許を異なる時期に取得しました。修了確認期限は、どの免許のものを記入すればよいですか？**
A 複数の免許を異なる時期に取得した場合、修了確認期限は個々の状況によって異なります。受験者本人で、文部科学省もしくは免許状が発行された都道府県教育委員会に確認し、正確に記入してください。

<特例申請について>

- Q 1 特例A-1に該当する実績がいくつもあるのですが、どれを申請すればよいですか？**
A 実績の中で、自分が最も上位と判断されたもので申請してください。
- Q 2 特例A-1の受賞が団体のため、個人に証明するものがないときはどうすればよいですか？**
A 賞状のコピーやその当時のプログラム、新聞記事などを貼付してください。ただし、必ず本人が所属していることが確認できる資料に限ります。
- Q 3 高等学校や幼稚園を受験する場合、特例を申請することはできますか？**
A 特例Aと特例Dのみ申請することができます。なお、小学校・中学校の受験者が、高等学校や幼稚園を併願する場合は、特例Bの申請はできなくなります。
- Q 4 特例Bの申請にかかわって、講師やトワイライトAPなどいろいろな種別を経験していますが、任用期間として合算できますか？また、それぞれの証明が必要ですか？**
A 任用期間の合算はできます。ただし、重なった期間はどちらか一方で算定します。証明は種別ごとに必要です。「実績証明書」の下の表を参照してください。複数の証明が必要な場合は、申請書を複写してご使用ください。なお、講師等の場合は、最後の勤務先ですべてを証明してもらうことができます。
- Q 5 平成27年4月27日から平成27年7月3日まで非常勤講師をしましたが、この期間の任用月数をどのように算定すればよいですか？**
A 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定します。この場合は、4か月です。
- Q 6 50歳以上ですが、受験をすることはできますか？**
A 特例B-1、特例B-4、特例Dを申請して認められた人は、60歳未満（昭和32年4月2日以降に生まれた人）まで受験が可能です。ただし、特例B-4の要件に満たず、特例B-4と特例B-5を合算して、活動（任用）期間が2年以上になる人は、1次試験の「総合教養」は免除されますが、50歳以上の人は受験できません。

<採用試験・提出物について>

- Q 1 特別支援学校を受験したいのですが、特別支援学校（養護学校）の教諭免許が必要ですか？**
A 必要です。特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状も必要です。
- Q 2 現在免許がなく、10月に文部科学省が実施する資格認定試験を受験しますが、採用試験は受けることができますか？**
A できます。ただし、免許が取得できなかった場合は、合格しても採用されません。
- Q 3 通信教育により免許を取得中ですが、免許取得見込証明書が発行されません。どうしたらよいですか？**
A 単位取得（見込）証明書を用意してください。それも発行されない場合は、通信教育でどの単位を取得しているか分かるもの（カリキュラム等）、もしくは在籍証明書を用意してください。
- Q 4 通信教育で免許を取得しましたが、卒業証明書は発行されません。どうしたらよいですか？**
A 修了証を用意してください。それも発行されない場合は、単位取得証明書を用意してください。
- Q 5 教員免許の修了確認期限を過ぎてしまいました。今年、更新講習を受講する予定ですが、採用試験の受験は可能ですか？**
A 受験は可能です。ただし、合格しても更新講習修了確認の申請を済まし、更新講習修了確認証明書が発行されないと、採用されません。免許状の修了確認期限については必ず受験者本人で、文部科学省もしくは免許状が発行された都道府県教育委員会に確認してください。
- Q 6 障害者特別選考試験の特徴は何ですか？**
A 1次試験の総合教養、口述（集団面接）、2次試験の口述（集団面接）を受験する必要がありません。特例も申請できます。

平成28年度実施 名古屋市公立学校教員採用 障害者特別選考試験要項

名古屋市教育委員会

申込書受付期間	平成28年5月23日（月）から平成28年6月3日（金）
第1次試験	郵送の場合は、6月2日(木)の消印があるものまで有効 平成28年7月23日（土）
第2次試験	平成28年8月25日（木）・26日（金）
※ 試験日程や会場については志願者数などの関係により一部変更する場合があります。	

1 趣 旨

この障害者特別選考試験は、障害者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、身体障害者の方を対象として、その雇用の促進をはかることを目的として行うものです。

2 基礎資格

以下のすべてに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有または平成29年3月31日までに取得見込の人。
 なお、特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を取得または平成29年3月31日までに取得見込の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有または平成29年3月31日までに取得見込の人。
- (3) 50歳未満（昭和42年4月2日以降に生まれた人）。
 ※ 特例B-1、B-4、D（p. 3、4参照）に該当する人は60歳未満（昭和32年4月2日以降に生まれた人）。
- (4) 身体障害者手帳の交付を受け、教員としての職務の遂行が可能な人。

3 選 考

(1) 選考区分・採用見込人員

選 考 区 分	採用見込人員
① 高等学校教員 国語、地理・歴史、数学、理科、美術、英語、工業（デザイン・インテリア・グラフィックアーツ系）、情報、その他欠員が生じた教科	約10名
② 中学校教員 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
③ 小学校教員	
④ 幼稚園教員	
⑤ 特別支援学校教員	
⑥ 養護教員	
⑦ 栄養教員	

- 採用見込人員は、現時点での目安であり、今後検討の結果変わることがあります。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、p.11「6(3) 試験日程・内容」にてご確認ください。）
- 「② 中学校教員、③ 小学校教員、⑤ 特別支援学校教員」に合格した人の中から、特別支援学級担当教員に採用されることもあります。
- 高等学校教員のうち、募集がない教科において欠員が生じたときは、中学校教員を受験した人で申込書の「5 選考区分」の下段『高等学校で欠員が生じた教科の希望』を「有」にした人の中から若干名を選考し、面接の上採用することもあります。
- 本務教諭で、本市への採用希望者は、本採用選考試験を受験してください。（試験の一部免除がありません。詳しくはp. 3「4 試験の一部免除の特例について」の「特例 B-2」を参照してください。）
- 日本国籍を有しない人は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。
- ※ 選考試験の実施にあたり、障害の種類や程度に応じた配慮をします。配慮を希望する人は、申込書「16 受験に際しての配慮希望事項」に具体的な配慮事項を記入してください。

過去に実施した配慮の例

- 点字による筆記試験
- 手話による口述試験や試験監督の指示
- 試験会場や座席位置の配慮

(2) 選考方法

選考区分	選考方法	
	1次試験	2次試験
① 高等学校教員	共通 ○専門「教科」 ○実技 美術	共通 ○実技 英語
② 中学校教員	○小論文 ○専門「教科」 ○実技 音楽、美術、 保健体育、技術、 家庭	○口述 (個人面接) ○実技 英語
③ 小学校教員	○専門「小学校全科」	○水泳実技
④ 幼稚園教員	○専門「幼稚園教育」	○幼稚園実技
⑤ 特別支援学校教員	○専門「特別支援教育」	
⑥ 養護教員	○専門「養護」	○養護に関する実技
⑦ 栄養教員	○専門「栄養」	

※ 1次試験では総合教養、口述（集団面接）、2次試験では口述（集団面接）がありません。
 ※ 実技試験については、p. 8「9 実技試験」を参照

4 試験の一部免除の特例について

p. 2～4「4 試験の一部免除の特例について」と同じ

5 申込手続

p. 4「5 申込手続」と同じ

※ ただし、申込時に障害者手帳のコピー（交付機関、交付番号、障害名及び級が分かるもの）が必要です。

6 1次試験の期日、会場および内容

- (1) 期 日 平成28年7月23日（土）
- (2) 会 場 p. 5「6 1次試験の期日、会場および内容」と同じ
- (3) 試験日程・内容

	内 容	対 象
8:10～8:40	受 付	全 員
8:50～9:10	受験上の注意、書類提出	全 員
9:30～10:30	小 論 文	全 員
11:30～12:20	昼 食	
12:20～13:20	専門「小学校全科」	小 学 校
	専 門 「 教 科 」	高等学校（地理・歴史、工業、情報）、 特別支援学校、養護教員
13:40～14:40	専 門 「 教 科 」	幼稚園、中学校、 高等学校（地理・歴史、工業、情報を除く）、栄養教員
14:50～17:20	実 技	中 学 校 — 音・美・保体・技・家 高 等 学 校 — 美

※ 中学校、高等学校の同一教科の専門「教科」、「実技」は共通です。

※ 会場・試験日程を変更することがあります。

- (4) 1次試験日（7月23日）に提出するもの
 - (5) 1次試験の選考結果通知について
 - (6) その他
- } p. 6「6 1次試験の期日、会場および内容」の(4)(5)(6)と同じ

7 2次試験について

2次試験受験者となった人を対象に実施します。

期日・内容等

期 日	内 容	対 象
8月25日（木）	口述（個人面接）	全 員
	「水泳実技」	小 学 校
8月26日（金）	「幼稚園実技」	幼 稚 園
	「英語実技」	中学校・高等学校の英語
	「養護に関する実技」	養 護 教 員

8 選考結果通知等

p. 7「8 選考結果通知等」と同じ

9 その他

※ 出願に際しては、p. 9「教員採用選考試験Q & A」を参考にしてください。

※ 採用された場合、公共交通機関による通勤が著しく困難な場合には、自家用自動車などの公共交通機関以外（各自で確保）による通勤も可能です。